

動 き

長野市陸上競技協会 会報 第 32 号

発行日 平成 23 年 4 月 1 日
発行所 長野市陸上競技協会
発行人 内山 了治
編集人 田島 康彦
URL: <http://nriku.jp/>
E-mail: info@nriku.jp

題字：長野市陸協
三代目会長 山浦 保先生



日本初の 世界陸連Class- II 認証取得申請中

長野市営陸上競技場
平成23年3月改修完成

東日本大震災により、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。

また、同震災および長野県北部地震により、被害を受けられた皆様とご関係の皆様に、心からお見舞いを申し上げます。

(長野市陸上競技協会)

新年度を迎えて 理事長 内山了治

まずは、この度の震災で被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。また、福島原発についてはまだその脅威から解放されませんが、人が造った巨大システムを何週間も人が制御できない現実に、科学技術の進歩と人間生活のギャップを感じずにはおられません。同時にそこに介在したであろうヒューマンエラーについても、今後解明されると思いますが、夢の 21 世紀が悪夢の 21 世紀とならぬようお願いしつつ、身近にできることの模索と実行に、もどかしさを感じずの毎日です。

さて、前置きが長くなりましたが、この 2 年間は前執行部の伊藤会長一浦野理事長の足跡を見様見真似で行動し、本質的に理解できぬまま時が流れてしまいました。何かと行き届きがありご迷惑をおかけしましたが、皆様のご協力ご指導により、ここまで辿り着いたことに感謝申し上げます。まだまだ仕事に足りないということで、2 期目を担当することになりましたので、引き続きよろしくお願い申し上げます。

これまでの最大の課題は、「市営陸上競技場」の日本陸連第 1 種公認継続の実現であり、小坂憲次県陸協会長(市陸協名誉会長)、伊藤利博県陸協副会長をはじめ多くの皆様のお力添えにより、驚沢長野市長はじめ財政局、体育課の皆様にご理解を頂きました。そしてご関係の皆様の多大なるご尽力によ

り、見事な改修を経て第 1 種公認競技場となりました。加えて日本初の世界陸連公認「Class-II」競技場として申請して頂いていることは、喜びに堪えません。

長野市陸協といたしましては、大切に活用させていただき、競技力の向上や生涯スポーツの振興等に、最大限の努力をしなければならないと思います。次ページに改修内容を列挙しましたが、陸上競技場サーフェスは消耗品です。使い方によっては 1 年で摩耗してしまう部分もありますし、10 年以上その性能を発揮できる場合もあります。競技場に注意事項を掲載しましたので、趣旨をご理解の上、ご関係の部署で会員の皆様が率先してご指導くださいますようお願いいたします。

ところで、3 月 24-25 日に東京へ出張し、ネオンも街灯もない「暗い東京」を初めて体験し、今までの無駄なエネルギー消費も実感しました。身近にできる省エネ行動を意欲的に実践しなければならない時だと思えます。市陸協としても様々な無駄を省き、経費もマンパワーも効率的な競技会運営を心掛けなければなりません。さし当たり、競技会 1 日あたり 1000 枚を超えるコピーの削減でしょうか。審判編成・運営も前例に固執しない方法の模索と実践を目指したいと思います。

現役の身としては時間的な面で苦勞していますが、会員の皆様の前向きで絶大なるご協力ご指導をお願いいたします。

第 46 回全国高等専門学校陸上競技大会(専体協・日本陸連主催)を急遽代替地開催することになりました。茨城県笠松運動公園が被災により使用できないためです。皆様のご協力をお願い申し上げます。

シリーズ 第6回 市陸協を支えて下さる方々

長野市教育委員会体育課の皆様には、今回の長野市営陸上競技場改修工事をはじめ、常日頃、市町村対抗駅伝、長野県縦断駅伝、長野マラソンや長野中学駅伝など、数多くの大会にご指導ご援助を頂いております。特に今回は、体育課長徳武正男様、課長補佐長澤宏治様、局主幹桜井篤様、係長小林秀幸様、ご担当の甲田哲也様はじめ多くの皆様方に、ご理解と多大なるご尽力を賜り感謝申し上げます。

また、改修工事を直接ご担当された長谷川体育施設株式会社の皆様には、工期中でありながらH22年のシーズン終了まで、競技場の使用をお許し頂き、ご迷惑をお掛けしました。そして見事な仕上げに感謝しております。

そこで、今回は、市営陸上競技場改修について、年度末のお忙しい中でしたが、それぞれご寄稿いただきました。



係長 小林 秀幸様

前課長 徳武 正男様

長野市営陸上競技場の改修について 長野市教育委員会体育課

長野市営陸上競技場の改修工事が平成23年3月に完成しました。工事期間中は、日頃利用されている皆様にはご迷惑をおかけしました。

長野市営陸上競技場は昭和51年に整備され、日本陸上競技連盟の第1種公認陸上競技場として、現在まで多くの大会が開催され記録が残されてきました。

この公認は5年ごとの更新となり、前回の平成18年の公認更新の際の指摘事項等を踏まえ、メイン競技場の走路の全天候舗装のオーバーレイ、雨天走路のオーバーレイ、会議室の改修、サブグラウンドの改修、必要備品の整備を行い、総額で約1億4,900万円の事業費となりました。

今回、日本陸上競技連盟の公認に併せて、国内初となる国際陸連（IAAF）のClass-IIの取得を予定しています。

利用者の皆様におかれましては、施設・備品を大切に利用頂くとともに、この施設で練習を積み競技力の向上に努められ、素晴らしい記録を残していただきたいと願っております。

施工責任者

長谷川体育施設(株)北信越支店 坂田 真一

今回は(株)NIPPOの1次下請けとして陸上競技場の改修工事を担当させて頂きました。工事期間中に於きましては皆様にご協力頂き感謝申し上げます。

今回の工事は、工事期間の圧縮に加え、降雪により時間的に厳しいものがございました。

工期は10月1日から3月14日まででしたが、10月は競技会開催のため、工事開始が11月となりました。11～12月は天候に恵まれ、低温になると困難なウレタン関係の工事が比較的順調に進み、年内に舗装関係を終わらせることができました。ところが、年明けからの連続降雪で、細かなラインやマーキング工事が進まず、3月11日の検定に向けて必死の作業となりました。特に、日本初のClass-II取得に向け、日本陸連と世界陸連(IAAF)のマーキングの違いをどう処理するか、どちらを優先させるかなど、日本陸連との詳細な打ち合わせが必要でした。ラインの色の種類や形状は日本陸連の方が分かりやすく、競技者に親切ですが、これを全世界共通の規格にするには、色が作れないとかマーキングの専門技術が必要など困難な点が多いかもしれません。従いまして、IAAFの規格は単純かつ明瞭性が求められていると感じました。長野市営の

Bゾーン(第3,4コーナー内側半円)のマーキングは日本で初めてのもので、当社といたしましても自信を持ってお勧めできるIAAF規格で、棒高跳の選手は今まで以上に助走がしやすいと思います。また、サーフェス全面に施した遮熱トップコートは、表面の輻射熱の発散を効率化し、熱中症対策の一助となるものと思います。さらに、オーバーレイにより、反発も強くなり好記録が期待できます。ウレタンそのものは、皆さんご存知かと思いますが、国内初のClass-I仕様の新潟東北電力ビッグスワンと同等で、IAAFの認証を受けている「レジンエースST-II」というフルポリウレタンでございます。

どうぞ、思う存分の走・跳・投で、自己記録や好記録を誕生させてください。皆様のご活躍をご祈念申し上げます。

主な改修内容について

(理事長 内山)

【第1種競技場】

- ①走路、A/Bゾーン及び各助走路サーフェスのオーバーレイ(2mm切削3mm上乘せ)と遮熱トップコート処理。
- ②レーン幅1m22に変更：日本陸連規則がオーバーレイした場合はこのように変更することになっている。
- ③スタートライン、Bゾーンマーキング、各種マーキングなどは世界陸連(IAAF)規格となった(Class-II取得のため)。
- ④メインスタンド前のゴムチップ舗装打ち直し。
- ⑤雨天走路改修：建設当初の「タータン」は全てなくなった。
- ⑥水豪バー交換、ハンマー投げ囲い改修など。
- ⑦バックストレート側砂場散水施設、ダックアウト壁補修。
- ⑧砂場の排水改修と砂入替(梓川の白い砂)。
- ⑨縁石：コーナーを中心に新品と交換。表示タイル一式。
- ⑩フィールド・砲丸投ピットの不陸調整。芝の養生。
- ⑪ハードルの調整修理。バーを全て樹脂製に交換。
- ⑫各種用器具補充、台車、運搬車の新規導入など。
- ⑬スタート発生装置、超音波風速計などの導入(リース契約)。

【第4種競技場：補助競技場】

- ①走路の不陸調整、整備、転圧など。
- ②トラック内側と直線全天候走路のオーバーレイ。直走路は遮熱トップコート処理。
- ③縁石の補修、表示タイル補充など

Class-I・IIとは・・・国際陸上競技連盟(IAAF)の陸上競技場認証(検定)制度。国内Class-Iは、新潟BSW、大阪長居、神戸の3箇所のみであり、Class-IIは日本にはない(H23.3)。国際大会開催にはClass-IかIIの競技場が必要となる。また、五輪や世界選手権のリレー競技(記録によりTop16チームを選出)は、これらの競技場での記録が必要となる。これ以外の記録は認められていない。

長野市陸上競技協会「研修会」開催される

平成23年3月12日19時から長野駅前「油や」に於いて、市陸協研修会が開催されました。講師は、(財)日本陸上競技連盟施設用器具委員会副委員長(前委員長) 検定員:鈴木存先生、検定員:福島信久先生、赤沼広志先生、大島巖先生(欠席)、区域技術役員:峯村修平先生で、同日市営陸上競技場の検定に引き続き行われました。市陸協出席者は依田良春顧問、寺島大士会長ほか14名で、陸上競技場の最近の情勢や今後の方向について研修を深めました。質疑応答は次のとおり。

1)長野市営陸上競技場は、第1種公認要件をすべて満たしていないわけですが、どのような扱いになるのでしょうか?特に補助競技場「第3種全天候」については、今後も見通しが立ちません。300mトラック全天候でも可能という条件も耳にしましたが、今後の方向性をご示唆ください。

A> 規則のとおり、すべての要件を満たしているとは言えない。補助競技場が300mトラックの場合、平成23年4月1日現在で「全天候トラック」の場合に限り、第1種公認と見なす特例を設けた。これ以外は、400m全天候第3種競技場が補助競技場として必要となる。長野もこれに当てはまるので、今後整備をお願いしたい。300mトラックでは障害、投擲、リレー等困難な面が多い。

2)Class-IIの公認見通しはいつ頃でしょうか?

また、過去に長居競技場がClass-IIを取得されたかと思いますが、長野は「国内初」というような表現をしてもかまわないでしょうか?

A> 「国内初」という表現でかまわない。長居は諸事情でClass-II取得が曖昧となった。神奈川等々力競技場も3月中に申請があり検定を実施予定である。公認のタイミングについては、国際陸連(IAAF)の審査に時間がかかるので未定。

3)4×400mRの第3、4走者ゾーン入り口に、走者がたつ目安となるグリーン●印がありませんが、競技会では1レーンに2人を立たせる等の対応で良いですか?

A> そのとおりでよい。マーキング全体についてJAAFとの違いを審判員が理解することが大切である。

4)走高跳マット設置について、ABゾーンの下り勾配になる方向(走路側へ向かう助走)は、傾斜が基準範囲内(1/250)であっても、不可でしょうか?

A> 国際大会は不可。国内は可能。学生選手権などの女子走高跳は盗撮防止でこの位置に設置している。

両角 速先生 激励会

都道府県男子駅伝準優勝

報告会が開催される

長野陸協主催、佐久長聖高校両角 速先生の東海大学駅伝部監督就任激励会・都道府県対抗男子駅伝準優勝報告会が、去る3月12日長野市ホテル犀北館において開催されました。

信濃毎日新聞小坂社長をはじめご関係の皆様、長野陸協会員総勢約150名余りが集い、男子駅伝準優勝の慰労と両角速先生の激励を行いました。



第13回長野オリンピック記念長野マラソン大会中止

長野マラソン組織委員会は、3月23日同大会の中止を発表しました。詳細は大会ホームページをご覧ください。

第25回 Hope さん 長野高校3年 北原 亮 「決意」



私の今年度の目標は、インターハイ入賞です。昨年はインターハイ出場を目標にしながらあと一步及ばず、また新人戦北信越大会も膝の故障のために棄権するなど、詰めの甘さを感じました。

しかしその一方で、多くの経験を積むことができた年でもありました。全国規模の大会・合宿を通し、県内外を問わず多くの選手と交流し、コーチの先生方のご指導をいただき中で練習へ取り組む姿勢や練習法などを吸収しました。また膝の故障も経験し、練習の出来ない辛さと思い切り競技が出来る有難みを学びました。

今年度は、そうした経験を結集し余すところなく自分の力に変えて、周囲でサポート・応援して下さる方々に喜んでいただく最高の結果を残すことができるよう最後のインターハイ予選に臨みたいですね。

[H22年度 日本ジュニア選手権10000m競歩 3位]

Member's Corner _3rd

今回は、

木村 雅樹 さん

[市陸協強化普及副部長]

にご登場いただきました。



～メンバー紹介～

①審判員登録初年度：平成21年度

②審判担当部署、内容：主に記録、スターター

③楽しい瞬間、緊張する瞬間、審判員冥利

・楽しい瞬間：新記録が樹立したとき、本校生徒が活躍したとき(?)

・緊張する瞬間：スターターとしてピストルを打つ瞬間。選手がフィニッシュしてから記録が出るまでの間。

・審判員冥利：好記録が出て選手が喜んでいるとき

④過去に取り組んだ競技種目：長距離、フルマラソン

⑤現在のお仕事：川中島中学校教諭(数学担当)

⑥コメント：まだまだわからないことだらけでご迷惑をおかけしますが、今後ともよろしくお祈りします。

⑦長野市陸協への提言

選手への技術講習会や指導者講習会を更に増やしていただけるとありがたいです。

会員の活躍

The 2nd YOKOHAMA WOMEN'S MARATHON 第 2 回横浜国際女子マラソン大会を終えて 兼第 13 回世界陸上競技選手権大会代表選手選考競技会

3 時間 10 分 5 秒 自己新
島田 優子

38 歳の時に初めて走った長野マラソン。以来走る楽しさと、弱い自分に対しての悔しさと練習を積み 8 年になりました。“国際大会”に出てみたい…競技経験のない私でも努力すればきっと夢は叶うはず。それには出場資格基準の 3 時間 15 分を切らなければなりません。昨年 10 月の大町アルプスマラソンで念願の 15 分を切り、初の国際大会切符を手に入れました。

今年 2 月 20 日、夢の第一歩のスタートです。和やかな雰囲気の中で、意外にも緊張もなく笑顔で号砲を待ちました。横浜国際マラソンは、山下公園を発着とするほとんど平坦なコースです。前半は追い風の影響が快調に走り、「あと半分まで夢の大会が終わってしまう」と考える余裕もありました。しかし、25km 地点からの「みなとみらい地区」の風には苦戦しました。37km からは脚を前に出すことしか考えていなかったです。公園内の大歓声の中、3 時間 10 分 5 秒の自己ベストでフィニッシュできました。こうして走ることに理解と協力をして貰っている家族に、チームの仲間や応援して下さる方々に感謝の

気持ちを常に持ち続けていきたいと思います。

初めての国際大会は、完走できた喜びと共に後半の粘りができなかつた悔しさが残り、次回もっと強くなりたいと思いました。



【大会データ】

(日本陸連WEBより)

コース：横浜山下

公園前スタート、山下公園内フィニッシュ

主催：(財)日本陸連・朝日新聞社・日本テレビ放送網

優勝：尾崎 好美 OZAKI, Yoshimi 第一生命 記録 2:23:56

尾崎選手は第 13 回 IAAF 世界陸上競技選手権大会 代表に決定。

<8 月 27 日(土)～9 月 4 日(日) 韓国・大邱(テグ)で開催>

☆ 74 位 島田 優子 SHIMADA, Yuko 長野市陸協 記録 3:10:05

21:45 (22:09) (21:59) (22:23) (22:36) (22:31) (22:26) (23:16) (11:00) 出場総数は、170 名、時間内フィニッシュ 144 名。



訃報 故 酒井 清さんを偲んで

長野市陸協 古田 新造

長野市陸上競技協会の先覚者として、山浦会長と共に理事長を務め、協会の黄金時代を築いて下さいました。また昭和 53 年の長野国体では総務に加わり 1 週間の長期にわたる大会を無事終了させ、その 1 週間後に行われた全国身体障害者スポーツ大会では、2 日間雨天に見舞われた中で大会運営にあたられました。視覚障害者の部の 100m 走では、芝生の中で走る競技種目を急遽タータン上に変更挙行し、後々のルール改正の素となり現在に至っています。また、県縦断駅伝において当時は砂利道が多く、凸凹の道を人・車が走る中での集計作業を B4 の用紙 1 枚にまとめる技は、県下広しともいえない素晴らしい書記をお持ちの人でした。

現職を退職後は、身体障害者スポーツの普及に努め、県の障害者指導者として毎年 20～30 人を養成し、その一方で 4 地区の指導者をまとめ、指導者連絡協議会を設立し、会長として 10 余年指導されてきました。また、地区福祉事務所と連携し、地区障害者スポーツ大会の育成、全国身体障害者スポーツ大会の監督として、選手・指導者を引率され多大な成果を上げ、全国身体障害者スポーツ協会より第 1 回目の功労者として受賞されました。80 歳の大台を過ぎてから体調を崩し、静養に励みましたが病には勝てず、昨年 11 月 5 日、87 歳にて天寿を全うされました。

中村 市治さんご逝去 中村さんは 1 月 11 日にご逝去されました。追悼文は長野陸協会報第 146 号に掲載されています(依田邦夫先生寄稿)のでご覧下さい。お二人の長野市陸協への多大なご貢献に感謝するとともに、ご冥福を心からお祈り申し上げます。

◆ 事務局からのご連絡・お願い ◆

・第 46 回全国高専陸上競技大会が長野市営陸上競技場で開催されることになりました。茨城県笠松運動公園が被災し、改修に時間を要するため、代替地開催となります。主催は日本陸連・全国高等専門学校体育協会、主管が長野市陸協となります。急な決定で申し訳ございませんが、事情をご賢察頂き、ご協力をお願い申し上げます。期日は 8 月 27 日(土) 13 時開会式、28 日(日) 15 時開会式の予定です。

・長野市営陸上競技場は、3 月 25 日から補助競技場を含め通常の使用が可能となりました。日本初の IAAF Class-II 認証の知らせが待ち遠しく思います。競技力の向上に大いに活用させて頂きましよう。

・長野市陸協理事会(2/6)・総会(3/13)、北信陸協総会(3/17)が開催され、H22 の事業報告、H23 役員、事業計画等が承認されました。H23 年度市陸協役員、競技会日程は P5-6 のとおりです。

・2011 年 3 月 11 日 14 時 46 分ごろ、太平洋三陸沖を震源として発生した地震(M9.0、震度 7)により、当日行われていた長野市営陸上競技場検定作業も中断しました(長野市は震度 3)。

H23 年度第 1 回理事会：7 月 1 日(日) 15 時開催予定です。以上、理事長

・総務部長より：未登録の皆さんは、至急登録手続きをお願いします。

◆ 編集後記 ◆

昨年度は、例年にない夏の猛暑から一転して、冬場の冷え込みも厳しく、久しぶりに長野県らしい寒さが続きましたが、いつの間にか暖かで穏やかな春を迎えました。競技者にとっては、今シーズンの記録向上と活躍を目指しての鍛錬期を終え、いよいよ試合に向けて基礎的準備をする仕上げ期に入ります。特にこの期間は、年間の中でもトレーニング中の傷害が多いため、十分注意してシーズン入りしてほしいと思います。また、審判員にとってもシーズン到来となります。選手の記録向上と長野県らしい活躍を期待しながら、審判業務に携わりたいと考えます。

東日本大震災、長野県北部地震および福島原発事故により被災された皆様(心からお見舞いを申し上げます。また、いち早い復興をお祈り申し上げます。(広報部長 田島康彦)



スクールスポーツウェア専門
しなのメイト株式会社

(本 社) 〒389-0606
埴科郡坂城町大字上五明 992-2
TEL. 0268-81-1336 FAX. 81-1337
(新潟営業所) 〒950-0823
新潟市東区東中島 2-18-41
TEL. 025-256-5215 FAX. 256-5216

THIS IS A CHALLENGE TO ME.